福祉のひろば

特 おとなりの国

韓国・釜山の反貧困運動からまなぶ

(3)

2014



ひろばトーク

陸前高田 菅野悦雄さん 久慈 城内仲悦さん

陸前高田3月11・12日、久慈13・14日に展示交流します

編集 総合社会福祉研究所

住む人・使う人が主人公!

私たちは住む人・使う人の 立場に立って設計しています。 お気軽にご相談下さい。

京都建築事務所

604-8083 京都市中京区三条柳馬場東入中之町10 代表取締役社長 川下 晃正 $\begin{pmatrix} 0 & 7 & 5 \\ 0 & 7 & 5 \end{pmatrix}$ $\begin{smallmatrix} 2 & 1 & 1 & -7 & 2 & 7 & 7 \\ 2 & 1 & 1 & -7 & 2 & 7 & 0 \end{smallmatrix}$ FAX http://www.kyoto-archi.co.jp/

> サージを、イラストと写真をあわせてわかりやすく解説。 口の構造や病気の基礎知識から、障害への対応、口腔マッ

)保・幼・小の接続カリキュラムに対応

〒601-8382

京都市南区吉祥院石原上川原町21 http://www.creates-k.co.jp

フリエイツかもがわ

TEL 075 (661) 5741 FAX 075 (693) 6605 送料何冊でも240円





法制化の検証と課題

医療的ケアは、障害児者の在宅支援、教育支援の 者の地域・在宅支援、学校の医療的ケア、ケアホ ア(核)である。医療的ケアの原点と制度、超重 など、法制化の検証と課題を明らかにする。

ひろがる地域格差の平準化をめざして…

NPO法人 医療的ケアネット●編 2000円+税

基本に、保育園・幼稚園での取り組みや 遊びを通して楽しく自然に学ぶことを 考えた保育活動 のスムーズな移行を

校の系統的な学習へ 生活体験から、小学

セットで活用すると理解度アップ!



気になる幼児の



小学校につなぐ 新たな保育実践 プログラム 2800円+税

景華◆監修 栗木みゆき◆著

お口のケアは健康につながる







研究会 1 日目の夜の夕食交流会では、青少年文化支援活動も行っている「ナダ芸術団」による、①チャング(打楽器)、伽倻琴(絃楽器)など伝統楽器演奏、②ケンガリ(鉦)、チン(銅鑼)、チャング、プク(太鼓)を用いて行う農楽やサムルノリ、③鶴の踊りを鑑賞しました(写真は、鶴の踊り)。会場となった「デポッチブ」は、昔ながらの居酒屋で、伝統的な韓定食を食し、マッコリを飲みながらの鑑賞でした。芸術団の団員のみなさんは、日本から団体で来た私たちを前に、「日本で演奏しているようだ」と語っていました。







2日目午後は、今回のメイン企画の講師、報告者が勢揃い。シンポジストのお一人のパク・ミンションさん(市民が運営する福祉法人私たちの町事務局長、写真上1番右)は、最後に「社会福祉は生活の質を高めること。最初この会場は"空間"だったが、長時間勉強して"場所"になった。こうした場所を一緒につくっていきたい」と語りました。

「ベビーシッターの労働実態は?」「スクールソーシャルワーカーは正規雇用?」など熱心に 質問する参加者(写真下)。



【ひろばトーク】

陸前高田3月11・12日、久慈13・14日に展示交流します 6

| ●特集● おとなりの国 韓国・釜山の反貧困運動からまなぶ

韓国における貧困状況と反貧困運動

自活事業「釜山における貧困者運動と地域自活センターの役割」

ジョン・トクヨン 21

女性の貧困「女性の反貧困運動と自主的事業体づくり」

ソン・ジョンウン 25

学校の取り組み「子どもの貧困に立ち向かうスクール

ソーシャルワーカー キム・ボッキ 28

まちづくり「釜山における福祉のまちづくり運動」

パク・ミンション 31

37

〈視察〉障害者の自立を支える障害者社会的企業 イ・ヘヨン 34

研究会参加者の感想

●トピックス●

子ども・子育で支援新制度と民間保育所の方向 杉山 降一 42 熊谷 泰昌 48 夕張诵信 自立した真の住民自治をめざして

●連載●

フォーラム 「障害者の65歳問題 | 植田 章 52

連載 小川政亮 第二部 自伝(最終回) 小川 政亮 54

「同済大学訪問、コスタリカの思い出など」

相談室の窓から 集団参加が苦手なB君(1) 青木 道忠 58

わらじ医者 早川一光の「よろず診療所日誌」 早川 一光 60

育つ風景 実践を味わう体験 清水 玲子 62

いっぽいっぽの挑戦(12) 繁澤 多美 64

「法と制度のはざま」を支える連携

映画案内 『オレンジと太陽』 吉村 英夫 66

現代の貧困を訪ねて マクドナルドの生活困窮者 生田 武志 68

なにわ銭湯見聞録(拾壱) ラッキー植松 70

いただきます! ひむろこだま保育園 72

高槻名物 うどんぎょうざ

私の研究ノート 藤林 清仁 74

障害のある子どもを支える地域の仕組みを考える

ホームレスから日本を見れば ありむら潜 76

花咲け!男やもめ 川口モトコ 77

みんなのポスト 50 / 今月の本棚 49 / 福祉の動き 78

●グラビア● 第18回合宿研究会 2014.1.11 ~ 13 釜山の反貧困の取り組みから学ぶ

福祉のひろば

オ・ヨンラン 12 2014年3月号

●表紙の絵● 神門やす子



川本 浩

展示交流します

·植松 作品展



菅野悦雄さん

展示交流会が直近に迫った現地で開催の思いを伺いました。

陸前高田・菅野悦雄さん)

です。 が、この作品を通じて、ホッとする時間を過ごせればと願っています。 トル はありますが、 りて行います。展示スペースは、 プが行き交います。 を八○メートルほど削って、その土を市街地のかさ上げに使用します。 のカレンダーを寄贈してもらいました。タッチが柔らかく、私は、 本誌表紙絵を描いている神門やす子さんや福祉のひろば社から、三年続けて神門さん画 人形劇のミニ公演もされると伺っていますので、 今回の展示会は、米崎地域の通称コミセンと呼ばれている自然環境活動センターを借 陸前高田市は現在、 ここでは、 丸三年のこの時期に開催する意味は大きいと思います。 の堤防工事など、 「震災から丸三年の三月一一日と一二日に展示交流会を開催します。 いわさきちひろさんのようなイメージで神門さんの作品を観ています。 一○年はかかると言われた工事を三年で行う計画で進んでいます。 三年の節目で大きく変わろうとしています。一二〇 市街地の八メートルから一〇メートルのかさ上げや、 約五〇畳の和室と玄関フロアを予定しています。 地元の人形劇団にも声をかけるつもり 陸前高田の住民のみなさん 水彩画と書画の違 神門さんは当日 毎日、 メートル 約 大型ダン 一二メー

久〈慈じ ・城内仲悦さん)

被災地での住宅問題は厳しい状況です。 久慈は沿岸部でもほかに比べると被害が少な

(編集主幹



城内仲悦さん

12日、 久慈3月13・14日

神門やす子・ JIII

じめ、

復興の「ふ」の字という状況です。NHKの連続ドラマ「あまちゃ

ん」ブー

住宅問題は多くの沿岸部の課題です。やっと土地の造成に手がつきは

いほうでしたが、

す。 です。 いわ 後押しもあって、 .ゆる「食」が元気を取り戻しつつありますので、多くの方に味わっていただきたい ま、沿岸部を励ましていることの一つは、海産物などが戻りはじめていることです。 しかし、赤字路線には変わりませんので、 国も動き、三陸鉄道が再開。 地元の責任だけでは維持できません。 今年四月には久慈と宮古の間が開通しま

は、 多目的ホールです。ここだと、道の駅に来られた方も鑑賞できますので、 ん いただく機会にもなります。 金しています。保健師さん、保育士さん、ケースワーカーさんなどいろい 現在、 の絵の実物を直接観られる場ですので、楽しみにしています。 今年一月から台湾で、連ドラの「あまちゃん」が放映されるので、 読者と編集委員の方々との交流も行う予定です。会場は、久慈の道の 久慈には 「福祉のひろば」の定期読者が一五名います。 カレンダーや「ひろば」の表紙絵を飾ってこられた神門さ 私が毎月配付して、 台湾からの観光客も 駅、 作品を知 ろです。 土風館 今回 9 0

見込まれていると、宿泊した宿の店主から聞きました。

アで、 寸 り組みの資金支援をお願いします。 体名を掲載させていただきます。 二か所の展示交流会は、 りそな銀行 地元 の読者と一緒に 阿倍野橋支店 開催します。 大阪や京都から約四○点の作品を運び、 普通口座6697135 協力していただいた方は、 お振り込みは、 つきましては、 次の 全国 $\hat{\Box}$ 屋に 有限会社福祉のひろば の読者のみなさんにこの取 現 お願 地プログラムに氏名や 手弁当のボランテ 13 します。

集

異なり、

就労支援事業

(自活事業)

の参加を義務づけるもの

0

稼働

とは

策策定とは異なり、

基礎法は、

それ以前の生活保護制度が稼働能力者を排除してきたの

市民社会の協力により制定にい

たっ

たの

です。

よる

玉

な運

おとなりの 運動からまなぶ

ただき、

韓

玉

•

釜山での開催にいたりました。

8回合宿研究会in釜山

月11日(土)~ 13日(月・祝)

国民的な運動と国民基礎生活保障制度の制定

釜山・東明大学准教授の呉英蘭さん(佛教大学博士課程修了)にご協力をアサン・アンデンとを選択した。「組合の取り組みに造詣が深い、鈴木勉理事(佛教大学教授)を中心に、

に準備を進めてきました。そして昨年四月に韓国の社会的企業や社会的協

近国アジアでの視察研修を実施することになり、

昨年末から韓国

を候

国

総合社会福祉

研究所では、設立二五周年という節目の年に当たり、

★所得格差の広がり、

礎生活保障法 動の広がりによって、 貧困問題が深刻化、所得格差が拡大して、自殺者も突出して増えています。 深刻な貧困問題の発生に対し、 韓国では、一 労働者間の競争が激化し、 以下、 九九七年の 基礎法) 九九九年に国民のセーフティネットとなる IMF通貨危機以降、 非正規労働者が増大しています。 が成立しました。 幅広い団体・市民が連帯した国民的 政府や行政主導に 新自由主義的傾向 リストラ、

福祉のひろば 2014-3

ごが強ま

★海外で初めての研究会開催。 日本から三一名の参加